

平成7年豪雨災害の記憶をつなぐ防災教育

小谷中学校 清原 佳明



保小中で合同で取り組んでいる避難訓練



引き渡し訓練



中学3年生が保育園の子に伝える



平成7年小谷村豪雨災害の様子

平成7年豪雨災害の概要

- この年は7月になり7月7日以外は、毎日、雨が降っていた。
- 1日～10日までの降水量は184mm
- 10日21時ごろから降り出した雨が、大きな災害を導いた。
- 11日朝までに降水量26mm、その後、午前中は小康状態。しかし午後、時間の経過と共に雨量は多くなり始めた。1時間ごとの降水量、15時13mm、16時16mm、17時37mm、18時48mm、19時38mm
- 11日の降水量は254mm（通常ならば1か月分の降水量）
- 平成7年7月11日発生

被害の様子（当時の小谷村の人口3211人）

全壊	28棟	82人
半壊	7棟	36人
床上浸水	32棟	116人
床下浸水	154棟	514人
合計	221棟	748人

人的被害（死者・行方不明・負傷者）は、0人だった。



中学3年生、自らが学び、何を伝えるか考えていく

～そこで何があったのか、そこに住むものとして、知っておきたい～